

2期目がスタートしました。

更なるご協力をよろしくお願ひします。

いつも日本食品保健指導士会の運営にご協力を頂き、誠にありがとうございます。
現役員の運営となり、皆様のおかげでなんとか1期2年が終了しました。この2年間、初めて経験する事など様々なことがあり、指導士会会員の皆様・役員の皆様に助けて頂き感謝申し上げます。また、継続運営の実施の為、もう1期、更なるメンバーにも協力頂き、運営をして参りたいと思います。

さて、私たちが担う「食品保健指導士」の役割は、社会の高齢化や健康意識の高まり、そして情報過多な時代だからこそ、科学的根拠に基づいた、きめ細やかな食の指導が求められています。皆様一人ひとりの現場での活動が、市民の皆様の「食を通じたQOL（生活の質）の向上」に直結していると確信しております。

また、厚生労働省は11月21日、食品衛生監視部会を開き、サプリメントの新たな規制の導入に向けて、同省が「事業者による健康被害情報の報告」と「営業許可・届出」、消費者庁が「サプリメントの定義」と「製造管理」について検討する方針を示したことにより、アドバイザースタッフ制度の考え方など、我々の知名度向上に伴う、活動が重要になってくるかと思ひます。

今後も、資格発行元の公財)日本健康・栄養食品協会さんとも、密に連携・情報交換を行い、研修機会の拡充はもちろんのこと、異業種・異分野との連携も積極的に推進し、横のつながりを起用化すると同時に「食品保健指導士」という資格が、社会に不可欠な存在としてさらに認知されるよう努めてまいる所存です。

最後に、会員の皆様のさらなるご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き当会の活動への温かいご支援とご協力をお願い申し上げ、巻頭の挨拶とさせていただきます。

引き続き、日本食品保健指導士会の活動にご協力の程、よろしくお願ひします。

(報告者:鳥沢泰弘)

各支部活動報告

① 九州支部・支部活動報告(西日本食品産業創造展報告)

2025年5月13日(火)～15日(木)にマリンメッセ福岡にて開催されました、西日本食品産業創造展に参加して参りました。九州7県の観光・物産展示・長崎和牛教室、弁当・惣菜・残さず食べてSDGS・和菓子教室などの人気があり、九州和菓子コンテストも実施され、食に関わる多くの方が来場する展示会です。各セミナー会場は、機能性表示食品届け出の変更点と新ルール・



食品機能とマイクロRNA・近未来の食品リスク・目の健康を腸から考える・乳酸菌で食品をパワーアップなど、32講座が設けられ、どこも満席で好況でした。その中で、公財)日本健康・栄養食品協会様のブースに食品保健指導士養成講習会コーナーを設け、養成講習会のPRをスライド式やパンフで浅田指導士含めPCで説明勧誘を行いました。

② 九州支部活動報告(日健栄協委託事業報告)



2025年7月25日(土)福岡市中央区西日本新聞社会議室にて、公財)日本健康栄養食品協会九州支部と日本食品保健指導士会九州支部の共催セミナーを初開催しました。

現地参加者24名・Zoom9名、合計33名でした。

1部は「健康食品GMPに関する日健栄協の取り組みと対応」日健栄協の青山常務、2部は「乳酸菌とフコイダンの健康効果について」九州大学大学院農学研究院食品免疫機能分析学講座の宮崎義之先生に講師としてご登壇いただきました。

日本健康栄養食品協会九州支部との共同セミナーは、2部構成と内容も充実していたため、多くの方々にご参加いただきました。

九州支部では、お時間がある時に一緒に活動をして頂ける方を募集しております。来年度も展示会への出展や福岡市民糖尿病教室への参加なども予定しております。一緒に食品保健指導士会九州支部の活動を盛り上げていきたい方は、是非ご連絡くださいませ。九州支部メールアドレス jfqaokyushu@gmail.com (報告者:武藤麻衣子・九州支部幹事)

③ 関西支部活動報告(日健栄協委託事業報告)

2025年6月8日(日)に指導士会ではあまり扱わない「健康食品の広告作りで発見！」をテーマに豊富な中小企業成功事例をお持ちの栢野克己氏に講師を依頼して、オンライン研修会(ZOOM)を開催いたしました。栢野克己氏の講義は、経験をもとにランチェスター戦略の活用法や競合との関係性について等、理論だけでなく事例に上がった会社で実際に行った実践に裏打ちされた内容であり、今後に大いに役立つものでした。今回学んだことを日々の業務に活かし、市場環境の変化に柔軟に対応しながら人々の健康に貢献していきたいと考えています。



また、今年度はじめ2025年1月18日(土)に本部主催で大阪研修会を会場開催したことをきっかけに関西支部メンバーの輪が大きくなってきています。この輪を広げていきたいと考えています。関西在住の皆様、是非、ご参加ください！！

(報告者:一岡頼子・関西支部副支部長)

④ 東海支部活動報告(日健栄協委託事業報告)

2025年7月5日(土)愛知県のウイंक愛知にて同朋大学社会福祉学部非常勤講師の岡田恵利先生を講師としてお迎えし、「食物アレルギーの栄養食事指導」についてご講演いただきました。岡田先生は大学講師であるとともに、小児アレルギーエデュケーターとして活動されています。小児アレルギーエデュケーターとは、高度なアレルギーの専門知識と指導技術者に与えられる資格で、アレル



ギーを持つ子どもとその家族に対して専門的な指導を行う医療従事者です。医療機関において実践されている食物アレルギーの栄養食事指導についてとても詳しくお話しくれました。木の実(ナッツ)アレルギーが5年前より11倍も増加、さらに低年齢化してきていることを指摘されました。その原因として、木の実の海外からの輸入量と相関関係にあり、消費者にはわかりにくい形で様々な加工食品に利用されていることが考えられるそうです。消費者の目安になるのはアレルギー表示ですが外食・中食に関して表示義務はありません。食べるものが制限されるわけですが、正しい理解の上で選択していくことが大切です。

岡田先生は、アレルゲンとなる食品中のタンパク質は加熱・加工・消化のプロセスにおい

て構造変化し低アレルギー化できるものもあり「必要最小限の食物除去」の理解を促し適切な食物選択により楽しく豊かな食生活を実践してもらい、定期的に食べられる範囲の確認により食品選択の拡大を目指し、患者さんの QOL の一助としてアレルギーエデュケーターの活動に努めていきたいと締めくくられました。現地参加者 20 名・Zoom15 名・後日オンデマンド 24 名、合計 59 名。



(報告者:千種ゆう子・東海支部事務局長)

⑤ 東海支部・支部活動報告(日健栄協委託事業報告)



2025 年 9 月 30 日(火)名古屋市にあるウエルネス健診クリニックで行われた健康フェアに参加しました。昨年の 9 月に続き 2 回目です。健康診断を受けられた方がこのブースにこられます。私たちは機能性食品を展示して、紙媒体を利用し、「健康食品を安全に使いこなそう」と題してお話をします。すでに健康食品を取り入れていらっしゃる方や添加物を極端に否定される方、新たな情報を得られたと笑顔する方など様々な方に対応しました。今回は相談できる食品保健指導士がいることに興味を持たれた方が複数いらっしゃいました。12 月にも参加予定ですので、お近くの指導士の方でご都合がよろしい方は、一度参加してみませんか。ご連絡お待ちしております。

(報告者:中林厚子・東海支部支部長)

⑥ 本部部长活動報告(日健栄協委託事業報告)

2025 年度定時総会終了後の記念講話として、2025 年 5 月 17 日(土)14:20~花王株式会社 研究開発部門 特命エキスパート (ヘルスサイエンス担当) 弘前大学大学院医学研究科 招聘教授 桂木 能久先生にメタボリックシンドローム予防のための最新生活習慣研究~弘前 COI の取り組みから~と題しまして、弘



前 COI の活動を中心に最新の生活習慣研究（食と運動）や、データサイエンスのお話の解説をして頂きました。当日は大雨の中、現地参加者 29 名、ZOOM オンライン 22 名、後日オンデマンド 7 名、合計 58 名の参加となりました。司会進行を継田指導士にお願いをし、実施しました。

参加して頂きました指導士から、(抜粋)

・同じ青森県内に住む者として、とても興味深いものでした。ニュースや新聞で見かけた事はあるのですが、内容をそれほど詳しくわかっていなかったのでも勉強になりました。紙の資料を頂き再度勉強したいです。

・初めて web ではなく、現地にて参加させていただきました。講演に集中出来ましたし、お会いできるからこそのご縁もいただき、大変、有意義で楽しかったです。

・総会・講演会はセットで良い。更に情報交換会がセットならば尚良い。今回のような「軽め」の現地での情報現地交換会、年に 2 回位は必要かと思いました。また、zoom での懇親会参加も面白い試みで楽しかったです。

・やはり会場でのセミナーは良い感じでした。懇親会も楽しめました。名前、所属の名札は欲しいところです。

・WEB と会場のハイブリッド開催は、現地スタッフ方に大変お手数をおかけしますが、市ヶ谷にまでいけない方には貴重です。接続の問題とか大変だと思いますがオンラインとのハイブリッドのご継続をお願いいたします。

これらのご意見を参考に今後も研修会運営を実施してまいります。（報告者:鳥沢泰弘）



⑦ 本部署活動報告(日健栄協委託事業報告)

2025 年 8 月 9 日(土)宮城県仙台市仙都会館にて、公益社団法人 日本健康・栄養食品協会の常務理事である青山充先生に「知っておきたい 健康を志向する食品の基礎知識と最新の情報」と題してご講演いただきました。

冒頭、演題にあります「健康を志向する食品」は健康食品のことですが意図的に言い換えていると話されました。確かに、それはどのような食品なのかと

思考を巡らしたほど興味深く感じました。そして伝える言葉においても受ける印象は違ってくると思いました。今回は仙台開催で、宮城県栄養士会に所属する管理栄養士・栄養士の方にも参加呼びかけをしましたので指導士会員以外の受講者があることを想定してお話



をしていただいております。紅麴事件など健康被害も記憶に新しく健康食品やその制度に悪いイメージを持っておられる方もあるかもしれません。健康食品がどのように生まれ成長する中で、法令や機能性のあゆみ、安全性・品質の確保等まさしく基礎知識をわかりやすく説明していただきました。

研修会後のアンケートにもありますように、非常にわかりやすく健康食品の基本的なことについて確認と認識を深めることができました。安全性と品質確保においては適切な製品設計が重要で、適切な製造管理・品質管理のため健康食品 GMP 制度を検討中とのこと



です。そして事業者には一般食品以上に品質・安全性への配慮をする責任があると訴えられました。健康食品の信頼回復を願った強い思いを感じました。

健康食品のあるべき姿としては、まず消費者にわかりやすいものでなければならないと。確かに、一般消費者に説明をしていても理解していただいたかどうか、たぶん理解できていないだろうと思うことは少なくありません。そこで一体化した表示制度を作っていきたいと話され、今後

の展開においても興味は尽きませんでした。タウリン豊富であっても、タコ（蛸）は明らかな食品。薬のようにはなりえない。神社のお札はどんなご利益をいっても大丈夫。という話もあり、青山先生ワールドに引き込まれて終始和やかな仙台講習会でした。

恒例の懇親会は青山先生を囲み、東北地方での楽しい時間でした。食品保健指導士の産みの親である日本健康・栄養食品協会と全国の会員の繋がりが、より良く深くなっていけば嬉しいなと思っています。
(報告者:本部幹事・中林厚子)

⑧ 本部活動報告(東京都食育フェア参加者報告)

2025年11月8日(土)・9日(日)第17回東京都食育フェアにて、日本食品保健指導士会では、NO.37 ブースにて、『健康食品の正しい使い方・選び方』題しまして、一般消費者の方々に特定保健用食品・栄養機能食品・機能性表示食品・健康食品についての説明・啓蒙活動を行わせていただきました。初日は天候に恵まれ沢山の方々に対応ができましたが、2日目は冷たい雨が降る中の対応でしたので来客も少なく大変な状況下での対応だったかと思えます。お手伝いいただきました指導士の皆様、この場をお借りして御礼申し上げます。



げます。ありがとうございました。お手伝いいただきました指導士から参加感想を頂いておりますので、ご報告いたします。

- ・川口指導士…第17回東京都食育フェアにおいて、日本食品保健指導士会ブースでの健康食品や保健機能食品等に関する普及啓発活動に参加しました。

冬の到来のような日々が続いていた中で、この日は比較的暖かく、食育フェア開始の時刻には多くの方々が来場されていました。私は、午前10時から、健康食品や特定保健用食品、機能性表示食品等について数回、ブースに集まった来場者に説明しました。それぞれブースの中が埋まるほどの参加者に、熱心に聞いていただけました。

お話した内容は、・健康食品とは・食品、医薬品と特定保健用食品、機能性表示食品等保健機能食品との関係・特定保健用食品と機能性表示食品の類似点と相違点及び栄養機能食品の説明・健康食品、保健機能食品摂取時の留意事項等です。

専門的な立場とともに、参加した皆様と同じく健康食品を摂取している立場からも説明したことにより、一層関心を持っていただけたと感じました。昨年までは、定時に説明を始めていましたが、今年から、参加者の集まり具合で説明を始める形になりました。このことにより、参加者を待たせることなくタイムリーに説明できたようで、追加で途中から参加された方も多く、これが参加者の増加につながったように感じます。

- ・日高指導士…知識のアウトプットとしてはいい機会だと思いました。

講演や講義とは違い、話を聞くことを目的にしている人に説明するのは自分が説明していることをそこまで理解しているかが再確認できました。

- ・継田指導士…自分は2023年9月にくも膜下出血で倒れてしまい、そこからリハビリ期間を経て、実際に元の執筆のお仕事にとりかかれたのは2025年に入ってからになります。そんな中で鳥沢会長さんに声をかけていただき、本当に久しぶりに代々木公園の会場に足を運びました。当日は朝から3時間の受け持ち時間の間、身体がもつかどうか心配だったのですが、参加されていた指導士の皆さんのヘルプを頂きながら、何とか任務を果たすことができました。一緒にブースに立たれた指導士の皆さんにこの場をお借りして御礼申し上げます。当日は朝から天候に恵まれて、日常は杖で歩行している自分にとっては本当に助かりました。久しぶりに一般の方々と健康食品について話すことができました。私がお話しした方々の印象はなかなか皆さんはトクホと機能性表示食品との区別がついていない人が多いなあという印象でした。ちょうど、隣のブースが小児科の若い先生方のボランティアグループのブースだったのですが、そのうちの1人の男性のお医者さん

がブースに来てくれて対応したのですが、この先生も機能性表示食品についてよくわかっていなかったとおっしゃっていました。

食育フェアのようなイベントに参加することは、食品保健指導士としての自分を磨くいい機会だと思いましたので、今後も積極的に参加していこうと思った次第です。

- ・山口指導士…日頃の業務と違い一般の方々との接点に興味を持ち参加しました。保健機能食品を取り上げての説明は適切であり、ブースを訪れていただいた方のご認識が向上できたと思います。さらに質問を受け付けることにより様々な日頃疑問の声を知ることができたことが、参考になりました。

各参加指導士の知識も多岐に渡り勉強になりました事も感謝いたします。

- ・山下指導士…食品保健指導士を取得して10年以上経ちますが、初めて、このようなイベントのお手伝いをさせていただきました。アドバイザースタッフとして消費者との触れ合うということ自体が初めてで新鮮でした。もちろん、普段から、友人に健康食品について話す機会はあるのですが、指導士の資格証を首から下げて、健康食品に関する知識レベルも様々な方を対象にお話をするというのは貴重な経験でした。消費者の方と一緒に、展示で並べた様々なトクホや機能性表示食品を眺めて、この製品は美味しい、この様なシーンで食す、など話も聞かせてもらえました。

また、ご一緒させていただいた指導士さんも様々なバックグラウンドで色々な経験、知識をお持ちで、指導士同士の交流も楽しい時間でした。小雨の降る、お天気には恵まれない時間帯ではありましたが、楽しい時間を過ごせました。また機会がありしたら参加させていただきたいです。

また、一般の方は機能性食品、特定保健用食品の存在は知っていても詳細が良くわからないことがやはり多いと感じました。

ただ、詳細を説明すると意外と興味を持って聞いてくれることが多く、それぞれの特徴を知ることができてよかったと言ってもらえたのは興味深かったです。

- ・阿久根指導士…一般の方々に健康食品と機能性表示食品について説明する中で、自身の健食への認識を再構築することが出来ました。また参加者からは昨今のNewsへの関心度の高さから、具体的な効果や選び方に関する質問も寄せられました。啓蒙活動を通じて、消費者の理解促進と信頼構築の重要性を再認識しました。

- ・北原指導士…過日は、東京都食育フェアの貴重な機会を頂き、ありがとうございました。私は土曜日に参加させていただきましたが、天候にも恵まれ、多くの来場者の方とお話することができ、楽しいひと時を体験することができました。一方、日曜日は雨で大変だったと伺い、皆様のご尽力に改めて感

謝いたします。

今回が初めての参加でしたが、一般消費者の方々が食品表示について、まだ十分に理解されず、なんとなく広告に惑わされ、本来自分に必要なものを選択できずに摂取していることを実感しました。

半日という短い時間ではありましたが、大変有意義な経験となりました。このような機会をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。今回の参加を通じての感想・次回への要望・食品表示に関する一般消費者の理解がまだ十分でないため、より分かりやすい説明方法が必要である・限られた時間の中で効率よく説明できるよう、事前の準備（説明資料・話すポイント整理）が重要・食品表示の専門知識をかみ砕いて伝えるために、具体例や図解、実物パッケージの活用など説明の工夫が必要・来場者の質問内容傾向や分かりにくい部分（原材料名・添加物・栄養成分表示など）を掴めたため、次回以降の準備に活かせると感じた。・初めての参加で気づくことが多く、実践を通じて自分自身の知識確認や伝え方などの改善点が明確になった。

※次回の会報誌にて、東京都食育フェア内容についてのご報告をいたします。

あとがき

皆様、会報誌をお手に取っていただきありがとうございます。あつという間に今年も残すところあとわずかとなりました。本会報誌が、日々の指導活動の一助となり、皆様の知識の整理や新たな学びのきっかけとなれば幸いです。

さて、先日12月3日に開催されました日健栄協（公益社団法人 日本健康・栄養食品協会）のセミナーに、本会からも多数の会員が参加いたしました。この場を借りて、その感想と学びを共有させていただきたいと思います。

今回のセミナーでは、特に機能性表示食品の最新動向や、エビデンスに基づいた栄養指導の重要性について、大変示唆に富む内容が提供されました。

消費者庁長官の堀井奈津子氏は、消費者行政の最近の動向を説明。11月26日開催されました機能性表示食品の「自己点検」に関する説明会では、200件近くの質問が寄せられたことを紹介され、現在質問を精査して、ホームページ上で公表できるように動いているとの事でした。また、サプリメントの規制のあり方の検討について、消費者庁と厚労省が毎週のように打ち合わせをしていることを説明し、健康食品に対しての規制が今後何かしらあるのではないかと思われまます。

巡る検討会の座長を務められました、神戸大学大学院法学研究科教授の中川丈久先生は「機能性表示食品制度はどう変わっていくか」をテーマにご講演頂き、訴求する表示につ

いて、「食品的効能表現」と「医薬品的効能表現」など、表現のレベルを仕分けできるのではないかと提案されておりました。このセミナーを通じて感じたのは、「食品保健指導士」として、常に最新の科学的情報をアップデートし、それを分かりやすく、かつ正確に生活者へ伝える責任の重さです。情報が溢れる現代において、我々の専門的な知識と、それを伝える技術の重要性はますます高まっています。

今回の学びを活かし、来年も本会では、皆様の活動を支援するための研修会や情報提供をより一層充実させてまいります。

今後の決まっている予定としまして、

2月11日(祝)…日本食品保健指導士会 EX ミーティングを予定しています。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

皆様におかれましても、この年末年始に、ご自身の活動を振り返り、新たな知識を身につける機会としていただければ幸いです。健康で充実した新年を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。

どうぞ良いお年をお迎えください。

会長 鳥沢 泰弘

